

2020年1月8日

京都大学 複合原子力科学研究所

京都大学複合原子力科学研究所 核燃料物質使用許可変更申請について

1. 概要

京都大学複合原子力科学研究所核燃料物質使用施設のうち、臨界実験装置（KUCA）で使用するため、濃縮ウラン（濃縮度5%以上20%未満）U-Mo合金サンプル板を新たに入手する。このため、現行の許可内容に対して、濃縮ウラン（濃縮度5%以上20%未満）の化学形として「U-Mo合金」を追加するとともに、許可量を変更（追加）する。また、利用目的を追加する。

2. 変更内容及び今後の予定

- KUCAの炉心において、原子炉物理実験（反応度測定、反応率測定など）に用いるため、濃縮ウラン（濃縮度5%以上20%未満）を用いたU-Mo合金サンプル板（図1参照）を新たに入手する。数量は合計■■枚、U総量として約■■■、U-235量として約■■■であり、令41条非該当。

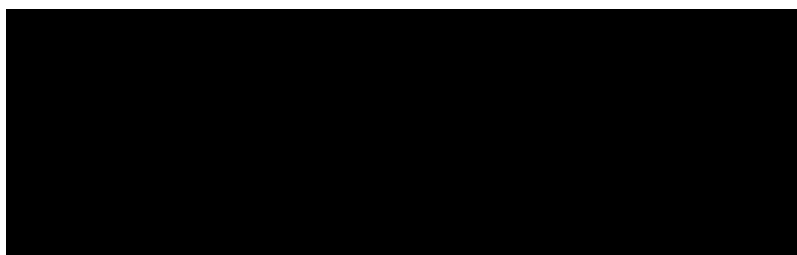


図1 U-Mo合金サンプル板の概要

- 貯蔵はKUCA炉室内の既存貯蔵庫（NR-08）を用いる。
- 使用許可申請書の変更点は下記のとおり。
 - KUCA許可量のうち、濃縮ウラン（濃縮度5%以上20%未満）の許可量を現行の5gからU総量■■■、核分裂性物質■■■に変更（注：重量については概算）
 - 濃縮ウラン（濃縮度5%以上20%未満）の化学形として「U-Mo」を追加。
 - 利用目的として、「原子炉物理実験」を追加し、KUCA炉心に当該サンプル板を装荷して反応度測定、反応率測定に用いる旨を記載。
 - 貯蔵庫NR-08に係る貯蔵量等を変更。
 - 臨界集合体に係る現行の記載を新規規制基準対応に変更（線量評価を含む）
- 以上の変更について、できる限り早く変更申請を予定。